

めぐみイエス・キリスト教会

2019年2月10日(日)第二主日礼拝
週報「通算第443号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年2月10日(第二主日礼拝)
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時
司会・奏楽 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌225「罪の汚れを」 p. 342
- 【交読文】 No.27 詩篇第90篇 p. 900
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌257「キリストは生きておられる」p. 400
- 【使徒信条・主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.2「あなたと共にいつまでも」
- 【聖書朗読】 ヨハネの福音書17章9節～12節(新約p. 197上段)
- 【祈 禱】
- 【説 教】 《あなたの御名の中に》 鈴木 竜実 牧師
- 【聖 餐 式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌198「GOD BLESS YOU」 p. 294
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所【ヨハネの福音書17章9節～12節】

17:9 「私は彼らの為にお願いします。世の為にではなく、あなたが私に下さった者たちの為にです。なぜなら彼らはあなたのものだからです。

17:10 私のものはみなあなたのもの、あなたのものは私のものです。そして、私は彼らによって栄光を受けました。

17:11 私はもう世にいなくなります。彼らは世にいますが、私はあなたのみもとにまいます。聖なる父。あなたが私に下さっているあなたの御名の中に、彼らを保って下さい。それは私たちと同様に、彼らが一つとなる為です。

17:12 私は彼らと一緒にいたとき、あなたが私に下さっている御名の中に彼らを保ち、また守りました。彼らのうちだれも滅びた者はなく、ただ滅びの子が滅びました。それは、聖書が成就する為です。」

●ポイント1.「私たちのアイデンティティー」とは？

※ヨハネの福音書15章18節～19節「私が世から」 (新約p.194上段)

15:18 「もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりも私を先に憎んだことを知っておきなさい。

15:19 もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、かえって私が世からあなたがたを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎むのです。」

※ヨハネの福音書17章6節 「あなたが世から」 (新約p.197上段)

17:6 「私は、あなたが世から取り出して私に下さった人々に、あなたの御名を明らかにしました。彼らはあなたのものであって、あなたは彼らを私に下さいました。彼らはあなたのみ言葉を守りました。」

●ポイント2.「御名の中に彼らを保つ」とは？

※詩篇91篇1節～16節「神の人モーセの祈りから」(旧約p.916下段右側)

●ポイント3.「滅びの子」とは？

※ヨハネの福音書6章70節～71節「悔い改めの最初の場合」(新約p.171)

6:70 イエスは彼らに答えられた。「私があなたがた十二人を選んだのではありませんか。しかしそのうちのひとは悪魔です。」

6:71 イエスはイスカリオテ・シモンの子ユダのことを言われたのであった。このユダは十二弟子のひとりであったが、イエスを売ろうとしていた。

※詩篇41篇9節「指揮者の為に・ダビデの賛歌から」 (旧約p.868上段)

41:9 私が信頼し、私のパンを食べた親しい友までが、私にそむいて、かかとを上げた。

※マタイの福音書26章47節～50節「最後の機会」 (新約p.52上段右側)

◎先週のメッセージの概要【あなたから出たみ言葉】

《ユダヤ人なら誰でも、アブラハム・イサク・ヤコブの神であるイスラエルの神様が、モーセを通して与えられた「メシア預言」を熟知していました。

『あなたの神、主は、あなたのうちから、あなたの同胞の中から、私のようなひとりの預言者をあなたのために起こされる。彼に聞き従わなければならない。』

これはあなたが、ホレブであの集まりの日に、あなたの神、主に求めたそのことによるものである。あなたは、「私の神、主の声を二度と聞きたくありません。またこの大きな火をもう見たくありません。私は死にたくありません。」と言った。それで主は私に言われた。「彼らの言ったことはもつともだ。私は彼らの同胞のうちから、彼らのためにあなたのようなひとりの預言者を起こそう。私は彼の口に私の言葉を授けよう。彼は、私が命じることをみな、彼らに告げる。私の名によって彼が告げる私の言葉に聞き従わない者があれば、私が彼に責任を問う。』と、申命記には書かれています。

イエス様は、この約束された預言者こそ、ご自身であることを弟子たちに教えられました。それ故イエス様の語られた言葉は、父なる神様が授けられた言葉であり、モーセの預言の成就であることは、明白なのです。

そして、「それは、あなたが私に下さったみ言葉を、私が彼らに与えたからです。彼らはそれを受け入れ、私があなたから出て来たことを確かに知り、またあなたが私を遣わされたことを信じました。」と主イエス様は言われました。

また主イエス様は、以前大声でユダヤ人の指導者たちに言われました。「私を信じる者は、私ではなく、私を遣わした方を信じるのです。また、私を見る者は、私を遣わした方を見るのです。私は光として世に来しました。私を信じる者が、だれもやみの中にとどまることのないためです。私は世をさばくために来たのではなく、世を救うために来たからです。私は、父の命令が永遠のいのちであることを知っています。それゆえ、私が話していることは、父が私に言われたとおりを、そのままに話しているのです。」と。つまり、「あなたから出たみ言葉」とは、生ける神であられるご自身のことなのです。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は2月17日(日)です。2月24日(日)の礼拝は、鈴木牧師が国技館にて催される「五千人の第九演奏会」に出演する為、お休みします。また次回の聖書研究会・祈祷会は、2月13日(水)午後6時15分から行ないます。

